

公民館活動で地域の絆を深めよう



災害からの復興を語る中澤さん

長野県下の公民館長が参加

中野市公民館報

2014
No.111
(通巻 No.643)

6

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

県公民館長総会並びに研修会を開催

5月14日(水) 中野市中央公民館に県下各地から160名余りの公民館長が集まり開催されました。

基調講演では、3年前の長野県北部地震で甚大な被害を受けた栄村小滝集落の当時の公民館長として地区住民と復興を進めてきた中澤謙吾さんのお話をお聞きしました。地震により立ち入り禁止となった公民館を、子どもから大人まで汗を流して修復に取り組む映像に感動しました。また、地域の歴史に学び地域の宝を掘り起こす事が重要であることがわかりました。

いま、地域の人間関係が希薄化しているといわれますが、住みよい地域づくりをするために、公民館が地域住民と学習を通してどう取り組みを進めていくか。公民館数が全国一位の長野県の公民館活動に磨きをかけるにはどうするか。午後に開催された分散会では熱い意見が交わされました。

今月号の特集

平成26年度成人式

あおぞら

慎ましく無理なく

「何も足さない、何も引かない」とこかのコマシーシャルにあったようなフレーズですが、とても謙虚で素朴。すごい自信を感じます。

私達の生活の中は最低限必要なものは揃えておき、それを便利に使うことで快適に暮らす。欲しい物はいくらでもあるが、それを手に入れようとしても切りがなく、お金がどんどん出ていき、そのためにもっと働かなければならない。若いうちはそれでも生きるだろうが、人生の折り返しをとつくと過ぎた私は、これからの生活は「守り」の生活と決めて、仕事の借金を何とか返し、その後は「何も足さない、何も引かない」人生を送りたいと思っている。

仕事で沢山あればお金にも余裕が出来るが、昔ほど仕事量があるわけでもなく電気や燃料、生活用品が値上がりする中で出費は多いが収入が少ないのでは、どこかで「慎ましやか」な生活をしていかなければと思う。それでも「たまにはパーツとやるか」も絶対に必要とも感じる。どうやってバランスをとろうかな。(われもこう)

成人式

手の壁を越えて～



懐かしい友達とハイ、チーズ

5月4日(日)、五月晴れの下、市民会館で中野市成人式―進撃の成人―ハタチの壁を越えて―が行われ、色とりどりの振袖や羽織袴、スーツ姿の新成人397名が参加しました。

第一部の式典では、思い出のビデオ上映が行われ、恩師からの映像メッセージや中学生の頃のまだ幼い面影の残る自分達の姿に歓声が上がりました。

4名の代表者によるあいさつでは、家族や友人、先生、地域の方への感謝の気持ちや、「二十年間の人生で



受付で～す!

あふれる新たな決意

大勢の人達と巡り合い、関わってきたことを改めて感じている。かけがえのない仲間めぐりあうことができた―就職して様々なことを学んだ。もつと仕事ができるようになりたい―「生まれ育った自然豊かなふるさと中野市を誇りに思う」などの思いを述べました。

豊田中学校区代表の丸山将生(まさき)さんは、「成人」という言葉からどんなことを思い浮かべますか?と会場に問いかけた後、二十歳になったことで自分達は、様々な権利や自由を手にすることができるとともに自分

の行動に責任が生じてくること。五か月間の留学経験で様々なことを体験したり考えたりしたこと、新幹線開通に伴い自分達にも何かできることがあるのではないかと同級生達と話し合っていること、などを述べ、「小さな挑戦こそがよりよい社会への一歩になるのではないか」と締めくくりました。



南宮中学校区代表 柴本摩優(まゆ)さん



成人式だぜーい!

平成26年度 中野市

進撃の成人～ハタ

第二部の実行委員による抽選会、市役所前に場所を移しての記念撮影終了後も、久しぶりに会った友との会話は尽きることがありませんでした。

式に出席した町田有さん(柳沢)は「大学を卒業したら中野市に戻るともり。若い力で中野市をもっと盛り上げたい」相馬真美さん(新井)は「きれいな振袖を着て成人式に参加でき、大勢の仲間と再会できてとても嬉しい。今日の日があるのは両親のおかげ。大学に戻る前に、ちょっと恥ずかしいけど感謝の気持ちを伝えたい」との感想を述べてくれました。

中野市の未来を担う若者達の真剣な思いは、清々しい青空のようでした。



景品当たりましたねえ



なごやかな会場

企画・運営を担当 成人式実行委員会



成人式実行委員

佐三山小小町高江小野田石有神種田樋渡小柴小肥小横
藤井本林林田山口島村中澤賀田村中口辺林本澤田井田
亜絢あ夏裕雅ロ未ゆ玲里志哲結千摩夏知貴
紀香美海以典ラ之かり奈茜佳帆弥景魁裕佳晃果実典史唯

成人式実行委員長 小島ゆかり
成人式を無事に成功させることができ、本当に嬉しかったです。
私は、実行委員長としてみんなをまとめる役を任せましたが、なにも役に立たない委員長で、みんなに迷惑かけてしまったかもしれません。でも、みんなが優しくサポートしてくれたおかげでなんとか最後までやり遂げることができました。成人式は本当に本当に楽しかったです。懐かしい友達にも会えて、やっぱり昔からの友達っていいなって思いました。

これからも、学校や仕事など壁にぶつかることもあるかと思いますが、そんな困難な壁も乗り越えていけるようにがんばっていきたいです。ありがとうございます。

成人式副実行委員長 種村景
副実行委員長として成人式実行委員のみなさんと六か月やってきて、大変な事もありました。しかし楽しくみんなと力を合わせて迎えた成人式は、とても感動しました。
本当にありがとうございます。

こんにちは 分館

長元坊分館は、名前の由来となったチョウゲンボウが生息する国指定天然記念物の地の十三崖に隣接しています。

長元坊区は123戸で、分館の組織は、館長、主事と各組から選出された13人の班長で構成されています。行事は4月27日に50人が参加し盛会に開催したお花見、6月のマレットゴルフ大会、8月に開催される花火大会、9月の敬老会、11月の長元坊まつりなど盛りだくさんです。

長元坊分館

今は、忙しい時代となり、分館主催事業に参加いただくには大変なこともあります。

しかし、行事を楽しみにしていただいている区民の方々もおられますので、少数参加であっても続けていきたいと思っております。

少子高齢化の現在、多くの皆さんに参加いただける分館主催行事を計画し、当地区皆様の交流の場となるよう取り組んでいきたいと思っております。区民の皆様には、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(長元坊分館 畑中喜博)



十三崖の
チョウゲンボウ

ふるさととの歴史

夜間瀬川は、中野扇状地の北側を流れている。その堤防の内側には、松林が続いていた。江戸時代、竹原村が水害防止用に設けた松畑（水除雑木林）である。

竹原の村人は秋になると、この松林で落ちた松葉を浚い集めて囲炉裏や竈での焚付けにした。また、自生している葎を採るのも、大きな楽しみだった。

第二次大戦末期、陸軍が本土決戦に備えて兵器や弾薬の仮置き場として利用したのも、この松林である。

松林を住宅団地に

戦後、その松林は大きく変貌した。日本が高度成長期に入った昭和35年、通産省（現経済産業省）は松林一帯を工業団地に指定する。その誘致道路として長野電鉄竹原駅から工業団地に通ずる道路を開削した。

ない市民住宅が不足していた。その対策として、工場用地に確保しておいた松林を住宅団地に転用することにしたのである。

40年、長野県は松林を伐採して県営住宅の建設に着手、46年に54戸が完成した。同年、中野市も市営住宅の建設を始め、49年には県・市営合わせて122戸の住宅団地が誕生した。

36年、指定地内に飲料を製造する会社が進出。だが、その後新たな工場設置の動きは見られなかった。やがて飲料会社も撤退し、工業団地は実現しなかった。

おりしも中野市は、人口増にと

その住宅団地は、対岸の十三崖に生息しているチョウゲンボウ(市鳥)にちなんで、長元坊団地と名付けられたのである。

(徳永 泰男)

中央公民館

ふるさと歴史探訪 「集落と新田開発」

5月21日(水)、北間長瀬の新田開発について学習しました。バスで北間長瀬構造改善センターに移動し、講師の河野實先生から、北間長瀬が江戸時代初めに開発された新田村であることを聞きしました。水の豊富な地区でありながら、水害の被害を受け「冷泥」の地籍があるように地質が悪い村であったこと、村の中央に大清水という水量の多い湧水池があり、その周辺が北間長瀬発生の地であったことなどを聞きしました。寛永4年(1627年)には、間山村の源右衛門(土屋氏)が新田開発を進めた功績により、代官所から年貢・諸役を永代免除された免状をいただき、免状は市の文化財に指定されています。

水害と闘いながら新しい村づくりを進めた先人の血のにじむ努力に思いを馳せ、堰の管理を定めた村定めの申し合わせを、現在を生きていく人々に伝えていくことが大切なのだと思いました。



大清水の石碑前で

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコン ふれあいサロン 〈内容〉パソコンを使用 して、わからないところ を指導員がお答えします。	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く 午後1時30分～4時30分	中央公民館 団体室	新技術振興会	<定員>6名 <受講料・申込>不要 ※メニューに沿って進めるパ ソコン教室とは異なります。
	ふるさとの ホタルを楽しむ会 〈内容〉ホタルの生態を観 察し、身近な環境について 考えていただく講座です	6月28日(土)、29日(日) 30日(月) 午後7時40分～	ほんざわ 本沢川 (道光寺入口 周辺) ※集合場所 上今井駅舎前	中野ホタルの会	<申込み>不要 <持ち物>懐中電灯(ホタルを 驚かせないよう赤色灯又は赤 色セロハン付きの物)、雨具
	はじめての タブレット教室	7月9日(水) 午後2時～3時30分	中央公民館 教室	ドコモショップ 中野店	<定員>12名 <受講料>無料 <持ち物>なし <内容>タブレットの基本操作、 ナビ(地図)操作など <その他>タブレットは貸し 出します
	テーブルガーデニング *カラーサンド*	7月11日(金) 午前10時～ 午後0時30分 受付 午前9時40分～	働く婦人の家 1階 講習室	癒しのテーブル ガーデニングコ ーディネーター 碓井 智子 先生	<定員>15名 中野市在住、 在勤、初心者優先 <材料費>1,000円 <持ち物>作品持ち帰り用の袋・箱 <申し込み>6月11日(水)から
	第37回 中高女性 団体研修会 ～楽しく気軽にリンパビ クスを体験します～ 【リンパの流れを良くして 健康になりましょう ス テップアップ編】	7月5日(土) 午後2時～4時まで	木島平村 農村交流館 (旧南部小学校)	・リンパビクスイ ンストラクター ・コンディショニ ングインストラク ター ・ホリミシセラ ピスト 藤原則子先生	<対象>中高地区の女性 <定員>なし <受講料>無料 <持ち物>上履き、ヨガマッ トか厚手タオル、水分補給の 飲み物 <申し込み>6月18日(水)まで に中央公民館へ
中央公民館ギャラリー 書道どんぐり(6月16日まで)・25書道友の会(6月16日～30日まで)					
西部公民館	ゼロからはじめる ハワイアンフラ	6月25日、7月2日 7月16日、7月30日 8月20日、9月3日 9月17日、10月15日 10月29日 全9回 毎水曜日 午前10時～12時	西部公民館	メアフラ スタジオ 講師 島貫美佳先生	<受講料>無料 <定員>20名程度 <持ち物>飲み物、タオル、 動きやすい服装
豊田公民館	徒然草を楽しむ (六)	7月14日(月) 午後1時30分～3時30分	豊田公民館	近代文学研究者 堀井正子 先生	<受講料>無料 <定員>50名 <持ち物>筆記用具

作品募集 市民作品展

個人・グループで制作された作品を募集しております。奮ってご応募ください。

展示期間 7月19日(土)～21日(月)

午前9時～午後6時 ※21日は午後5時まで

展示部門 絵画・書・写真 他 各種作品1人3点まで

備考 展示は出品者各自で行っていただきます
<搬入・展示>7月18日(金)午後3時～

<搬出>7月21日(月)午後5時～

申込み 6月16日(月)から中央公民館へ

参加者募集 市民登山教室

登山を通じ山や自然環境について考えてみませんか。

日時 8月2日(土)～3日(日)

目的地 白馬岳(2,932m)

定員 35名

参加費 20,000円

申込み・問合せ

受付中(定員になり次第

締切)中央公民館へ





雨に咲くカタクリの花／箱山（小林幸成）



カナリーバード／一本木公園（一本木ローズ）



エニシダ／草間（宮澤 聡）



華／一本木公園（月岡尚雄）

花と季節の写真募集

宛先

中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎222・2691

Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限りです。四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集！

輝いてます

替佐城址整備保存会

替佐城は、永禄11年（1568）武田信玄により北の守りのために築城されたといわれています。かつては、青年団や区民により、草刈や手入れが行なわれ土俵場や観客席が整備され、秋の例大祭には大勢の住民で賑わいました。昭和58年度～61年度には、桜を中心に花木植栽遊歩道が整備され素晴らしい公園となりました。その後手入れが行き届かなくなりましたが、せっかくの宝物を後世に引き継ぐため、保存会の設立を呼び掛けたところ130

人余りの有志が集まり、雑木伐採、草刈、桜の補植等楽しみながら汗を流しています。整備が一段落したら、お祭りやイベントに取り組みながら、親睦を図り地域の団結と絆を一層深めていきたいと考えています。



▲桜の植栽作業